空気より軽い12A、13Aガス用

TOKYO GAS

(お客さま用)

㈶日本ガス機器検査協会検査合格品
日本消防検定協会鑑定合格品

品名	YS-K710C-K

形式名	YP-757

都市ガス警報器（家庭用）

住宅用火災・ガス漏れ複合型警報器
（不完全燃焼警報機能付）

取扱説明書

本品をご採用いただきありがとうございます。

●お使いになる前に、この取扱説明書をぜひお読みください。
●取扱説明書は、取付け後も保証書とともにお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。
●取扱説明書を紛失された場合は、販売店または最寄りの東京ガスにお問合せください。
●この警報器は、火災または不完全燃焼、ガスもれを未然に防ぐ装置ではありません。火災または不完全燃焼、ガスもれなどによる損害については責任を負いかねます。

この取扱説明書では本品を「警報器」、一酸化炭素を「CO」と表記しています。

安全上のご注意（絵表示について）

警報器を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしており、その表示と意味は次のとおりです。本文をお読みになる前にご確認ください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
⃠	一般的な禁止
⃠	火気厳禁
⃠	触れるな
⃠	分解禁止
❗	必ず行う

もくじ

● 警報器をご使用になる皆さま及び施工される方へ

はじめに

● ご使用になる皆さまへ

警報時の処置

取扱い方法

● 施工される方へ

施工

1 各部の名称と働き

①電源ランプ(緑)

●電源を入れてから約1分間、緑ランプが点滅します。
(警報器の安定時間)
●通常は緑ランプが点灯しています。

②都市ガス警報ランプ(赤)

●都市ガスを検知すると赤ランプが点滅します。
●都市ガス濃度が規定値以上になると、赤ランプが点灯(フラッシュ)します。
※点灯時は15ページを参照ください。

③CO警報ランプ(黄)

●COを検知すると、黄ランプが点滅します。
●CO濃度が規定値以上になると黄ランプが点灯(フラッシュ)します。
※点灯時は17ページを参照ください。

④火災警報ランプ(赤)

●火災による煙濃度が規定値以上になると赤ランプが点灯(フラッシュ)します。
※点灯時は13ページを参照ください。
●連動している別の警報器から火災連動信号が入力されると赤ランプが点滅します。
※点滅時は14ページを参照ください。

⑤警報スピーカー

●都市ガス警報時には「ピッピッポッポッガスがもれていませんか」と警報します。
※詳細は15ページを参照ください。

●CO警報時には「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報します。
※詳細は17ページを参照ください。

●火災警報時には「ピィーポォー ピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください」と警報します。
※詳細は13ページを参照ください。

●連動している別の警報器から火災連動信号が入力されると「ピィーポォーピィーポォー 別の火災警報器が作動しました 確認してください」と警報します。
※詳細は14ページを参照ください。

●火災警報とCO警報の複合警報時には「ピィーポォーピィーポォー 火事です火事です」と警報します。
※詳細は19ページを参照ください。
※その他の複合警報については9ページを参照ください。

⑥ガス検知部

（都市ガス・CO感知）

⑦火災検知部（煙感知）

⑧点検/停止スイッチ(押しボタン)

●押しボタンを押すことにより、点検や警報停止・警報履歴の確認などができます。
※詳細は9、10、38、39ページを参照ください。

⑨点検/停止スイッチ(引きひも)

●引きひもを引くことにより、点検や警報停止等ができます。
※詳細は9、10、38、39ページを参照ください。

⑩引きひも収納部

●縦取付の場合、引きひもはここに収納されます。押しボタンを使用してください。

⑪電源プラグ

●予備コンセントは最大1490Wまでの電気器具を使用できます。

⑫電源コード

●長さ2.5m（約2.2mはケース背面に巻き取り可能）

⑬外部出力コネクターカバー

⑭有効期限シール

⑮検査合格証

●日本ガス機器検査協会の検査に合格したことを示します。

⑯鑑定合格証票

●日本消防検定協会の鑑定に合格したことを示します。

⑰ガス検知部点検口

●都市ガス・CO警報点検時にガス採取器によりガスライターまたはガスコンロから採取したガスを注入します。

－ランプのつきかたについて－

取扱説明書中のランプの点灯、点灯（フラッシュ）、点滅、速い点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯	
点灯 (フラッシュ)	点灯中により明るく点灯 (0.5 秒周期)	フラッシュ周期
点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.5 秒周期)	点滅周期
速い点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.2 秒周期)	点滅周期

警報器の機能

はじめに

都市ガス・CO警報機能

<table>
<tr><td rowspan="2">●都市ガスがもれた場合

警報器周囲の都市ガス濃度が規定値以上になると、右のように2段階に分けて作動します。</td><td>低濃度(注意報)</td><td>高濃度(警報)</td></tr>
<tr><td>赤ランプの点滅

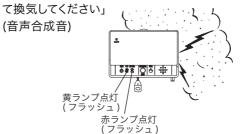
</td><td>赤ランプ点灯(フラッシュ)と都市ガス警報音「ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか」(音声合成音)

</td></tr>
<tr><td rowspan="2">●COが発生した場合

警報器周囲のCO濃度が規定値以上になると、2段階に分けて作動します。</td><td>低濃度(注意報)</td><td>高濃度(警報)</td></tr>
<tr><td>黄ランプの点滅

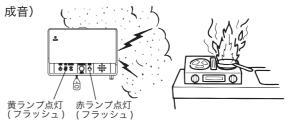
CO濃度が低濃度の場合でも約7分間継続して検知した時は黄ランプ点滅のままで警報音にてお知らせします。</td><td>黄ランプ点灯(フラッシュ)とCO警報音
「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」(音声合成音)

</td></tr>
<tr><td>●都市ガスがもれて同時にCOが発生した場合</td><td colspan="2">赤ランプ及び黄ランプ点灯(フラッシュ)と交互に警報音
「ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか」
「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」
(音声合成音)

</td></tr>
</table>

都市ガス・CO警報連動機器との接続

●戸外ブザーや住宅情報盤あるいは集中監視盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、戸外ブザーや住宅情報盤は専用品(別売品)をご使用ください。
●マイコンメーターに接続しますと、警報した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。ただし別売りの部品(警報器アダプター)が必要になります。
●無線連動システムでは警報すると送信機が電波を発信し、受信機が受信して自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。

火災警報機能

●火災による煙が発生した場合 警報器周囲の煙の濃度が規定値以上になると右のように作動します。	赤ランプ点灯(フラッシュ)と火災警報音「ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください」(音声合成音)
●火災による煙と同時にCOが発生した場合	赤ランプ及び黄ランプ点灯(フラッシュ)と警報音「ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です」(音声合成音)

●別の部屋に設置された住宅用火災警報器と接続して相互連動することもできます。
接続する場合は、販売店または最寄りの東京ガスにご相談ください。
●住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、専用品(別売品)をご使用ください。

3 ご使用上の注意

⚠危険

●浴室では使用できません。	禁止

⚠警告

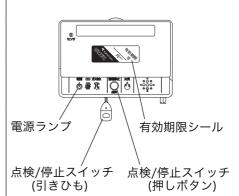
●警報器は絶対に分解や改造をしないでください。また、警報器を落下させたり衝撃を与えるような取扱いはしないでください。故障の原因となります。	分解禁止
●火災検知部のガードの中にある網にはさわらないでください。火災を検知しにくくなる恐れがあります。	禁止
●ガス検知部は絶対にふさがないでください。 ガスもれまたはCOを検知しなくなります。	禁止
●警報器電源プラグは常に通電している専用コンセントに接続し、電源プラグを抜かないでください。火災、ガスもれ、COが発生しても警報しません。	禁止
●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。	電源プラグは確実に シッカリと！
●電源コードにはステップルや釘等を打たないでください。火災の原因になります。	禁止

⚠注意

●警報器は取付位置を移動させないでください。また、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。警報器の位置を変える必要が生じた場合は、販売店または最寄りの東京ガスに依頼してください。	移動禁止
●ぬれた手でプラグおよび予備コンセント部分にさわらないでください。感電する恐れがあります。	ぬれた手でさわらない

はじめに

⚠注意

●日常、電源ランプ（緑）が点灯していることをお確かめください。
●警報器の有効期限を過ぎていないか、確認してください。警報器本体に有効期限シールが貼ってあります。有効期限は、お取付けの5年後です。
期限を過ぎたものは規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがあります。
●電源ランプ(緑)が速い点滅をしている場合は、故障をお知らせしています。
(22ページ参照)
早めに販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。
●有効期限を過ぎた場合、点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作すると「ピッ 取付後5年経過しています」とお知らせします。

確かめる

⚠注意

●この警報器は、お取付けいただいた場所近くでガスもれやCOが発生した場合には警報によりお知らせしますが、他の部屋などで発生したガスもれやCOでは警報しないことがあります。

●この警報器は、煙を感知して警報するものです。火災の防止装置ではありません。

●警報器を取付けていない部屋は、火災の監視はできません。

●屋外用ではありませんので、屋外では使用できません。

●警報器の近くでラジオ等を使用されると、ノイズ（雑音）が増える場合があります。
この場合は、警報器から少し距離を離してご使用ください。

●停電時は作動しません。また、はじめてお使いの場合や、停電後は電源を通じてから約１分間は作動しません。なお約1分後に赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると緑ランプ点灯のみに変わります。

●警報器は多少温かくなりますが、異常ではありません（通電によりセンサー部を加熱して使用するため）。

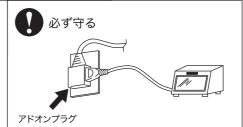
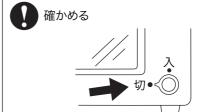
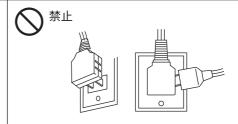
●大鍋で湯を沸かす際、点火初期時にCOが発生し、CO警報する場合がありますので、換気扇を回して使用してください。

電源ランプ(緑)が消灯している場合の原因と処置

原　因	処　置
●電源コードのプラグのはずれ	●電源プラグを差し込む
●停電	
●電源ブレーカーが切れている	●ブレーカーを入れる
●警報器の故障	●販売店に連絡する

予備コンセントのご使用方法

⚠注意

●警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグは抜かずに、警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）をご利用ください。ただし、接続できる電気製品は1490W以下です。1490Wを超えると火災発生の恐れがあります。	必ず守る
●警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）を使用するときは、接続する電気製品の電源スイッチを必ず「切（OFF）」にしてから接続してください。	確かめる
●警報器のプラグ、他の電気製品のプラグは確実に接続してください。プラグがコンセントに確実に接続されていないと、プラグ部分が加熱し、焼損する場合があります。	禁止
●警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)に接続するときは、警報器のプラグに大きな力がかからないようにしてください。プラグ部分が外力により破損する場合があります(例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください)。	禁止

ご使用方法

1.警報器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

警報器の動作
緑ランプが点滅します。

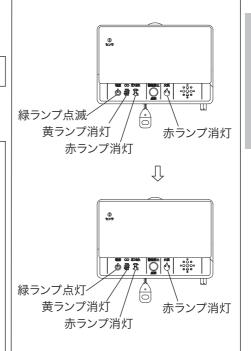
2. 約1分間お待ちください。

警報器の動作

約1分間は緑ランプが点滅しています。この間にガスがかかっても本体は作動しません。

⇩

約1分後に緑ランプが点灯し、監視状態に入ります。
緑ランプの速い点滅が止まらない場合は、警報器の故障が考えられますのでその時は、販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。

［赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると消灯します。］

お願い

●警報器の日常点検として、電源ランプ(緑)が点灯していることをお確かめください。
また作動点検として、月に1度38ページを参照して点検/停止スイッチによる確認を実施してください。

ご使用になる皆さまへ

6 警報時の処置

警報動作一覧

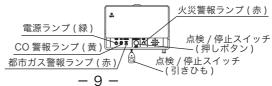
ランプと音声警報

ランプ (黄) CO	ランプ (赤) 都市ガス	ランプ (赤) 火災	音声	警報内容	警報の停止 点検/停止スイッチによる	対応方法
	点滅		無し	注意報	ー	P12
点滅			無し	注意報	ー	P12
	フラッシュ		ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか	ガスもれ警報	可	P15
点滅			ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	CO 警報	可	P17
フラッシュ					不可	
		フラッシュ	ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください	火災警報	可	P13
	フラッシュ	フラッシュ	ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください	火災警報と都市ガス警報	可	P13
点滅	フラッシュ		ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか / ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください (交互)	都市ガス警報とCO警報	可	P20
フラッシュ					都市ガス警報音のみ可	
点滅		フラッシュ	ピィーポォーピィーポォー 火事です火事です	火災警報とCO警報	不可	P19
フラッシュ					不可	

連動時

ランプ (黄) CO	ランプ (赤) 都市ガス	ランプ (赤) 火災	音声	警報内容	警報の停止 点検/停止スイッチによる	対応方法
		点滅	ピィーポォーピィーポォー 別の火災警報器が作動しました 確認してください	別の場所の火災警報	可	P14
	フラッシュ	点滅	ピィーポォーピィーポォー別の火災警報器が作動しました 確認してください / ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか (交互)	都市ガス警報と別の場所の火災警報	可	P14
点滅		点滅	ピィーポォーピィーポォー別の火災警報器が作動しました 確認してください / ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください (交互)	CO警報と別の場所の火災警報	可	P14
フラッシュ					火災警報音のみ可	

・警報時、点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作すると5分間警報音の停止ができます。
　ただし、警報状態が5分以上継続していて再警報した場合、都市ガス警報、CO警報は再停止できません。
・警報ランプはそれぞれ独立して点滅または点灯(フラッシュ)します。
・警報音は火災警報を優先します。
・火災警報とCO警報の複合検知時は、緊急度の高い警報音になります。

警報時の処置

警報履歴の確認

警報した後で警報内容を確認することができます。
点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を6秒以上操作して、「ピッ」「ピピッ」「ピピピッ」と鳴ったらスイッチから手を離してください。
警報ランプと警報音で警報履歴(最新の1回のみ)をお知らせします。

音声内容	ランプ			警報の種類
	火　災	都市ガス	CO	
ガスがもれていませんか		フラッシュ		都市ガス警報
空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください			点滅 または フラッシュ	CO警報
火災警報器が作動しました 確認してください	フラッシュ			火災警報
別の火災警報器が作動しました 確認してください	点滅			火災連動警報
火事です 火事です	フラッシュ		点滅 または フラッシュ	火災警報と CO警報

●警報履歴は警報解除から7日間保持されますが、警報器の電源をOFFすると消去されます。

警報時の処置

火災・ガスもれ・不完全燃焼(CO)以外で警報する場合

お願い

火災の煙がなくても、次のような場合に警報することがありますが、しばらくすると警報は止まりますので警報器の電源プラグは抜かないでください。
ガスもれや不完全燃焼のCOがなくても、次のような場合に警報することがありますが、しばらくすると警報は止まりますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

- ●スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
- ●濃厚なたばこの煙を警報器に吹きかけた場合。
- ●溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合。
  また、アルコール類やくん煙式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- ●警報器の電源電圧が通常の電圧範囲外の場合。
  通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。
- ●石油ストーブを点火した場合や、長時間換気せずに使用した場合。
- ●芳香剤・香油(アロマオイル)等の濃いガスがかかった場合。
- ●線香の濃い煙がかかった場合。
- ●フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用した場合。
- ●長時間部屋が閉め切られていた場合。
- ●焼き魚の煙等がかかった場合。
- ●お酒、みりんや酢等の調味料成分を含んだ蒸気が大量にかかった場合。
- ●湯沸器を使用中、換気が十分でなかった場合。
- ●ガスコンロの着火ミスがあった場合。
- ●自動車の排気ガスが室内にこもった場合。
- ●炭火や練炭を使用した場合。
- ●この他にも、可燃性の成分が作用した場合。

※ 長い間、閉め切られていたお部屋に設置されている場合、建材等から発生する成分等の作用により警報しやすくなることがあります。

このような場合は、ドアや窓を開けて、しばらく換気を続けると、警報は止まります。
ドアや窓を開けて換気してください。

 開ける

赤ランプまたは黄ランプが点滅

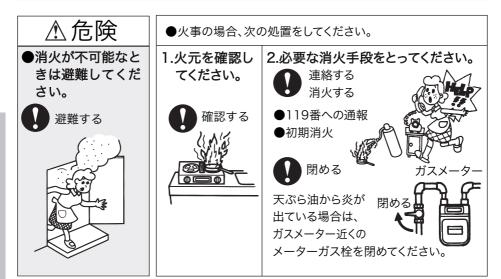
●都市ガス警報ランプ(赤ランプ)が点滅している場合、都市ガス警報の予備検知を意味しています。
また、CO警報ランプ(黄ランプ)が点滅している場合、CO警報の予備検知を意味しています。

●次の処置をしてください。

ドアや窓を開けて換気してください。
室内の空気が汚れた場合にも、赤と黄のランプが点滅する場合があります。

・ 外部機器と連動している場合、外部機器は作動しません。
・ 黄ランプの点滅が約7分間継続すると、「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報します。
この時、点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作すれば、約５分間警報が停止します。
5分間経過してもCO濃度が規定値以上であれば再び警報します。
再び警報した場合は、点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作しても警報は停止しません。

『ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください』

●「ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください」
と警報し、火災警報ランプ（赤ランプ）が点灯（フラッシュ）している場合
火災警報を意味しています。

※外部機器と連動している場合は、23ページ外部機器連動対応表を参照ください。

火災以外の煙で警報器が作動した場合の注意

●火災以外の煙などで火災警報している場合は都市ガス警報ランプ（赤ランプ）の点灯（フラッシュ）点滅の有無を確認してください。 — 確認する

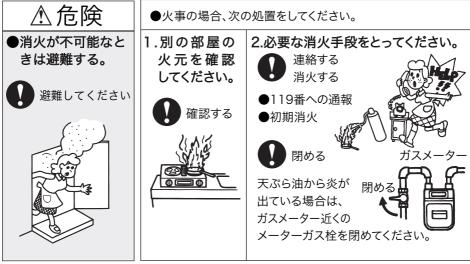
●都市ガス警報ランプ（赤ランプ）が点灯（フラッシュ）または点滅している場合は、12、15、19、20ページの処置を行ってください。 — 処置する

・ 点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作すれば、約５分間警報が停止します。
5分経過しても煙が残っていると再び警報します。

・ 警報器周囲の煙濃度が規定値以下になった場合、警報が止まり、赤ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

警報時の処置

『ピィーポォーピィーポォー 別の火災警報器が作動しました 確認してください』

●「ピィーポォーピィーポォー 別の火災警報器が作動しました 確認してください」と警報し、火災警報ランプ（赤ランプ）が点滅している場合、連動している別の警報器が火災を感知しています。

※外部機器と連動している場合は、23ページ外部機器連動対応表を参照ください。

火災以外の煙で警報器が作動した場合の注意

●火災以外の煙などで火災警報している場合は都市ガス警報ランプ（赤ランプ）の点灯（フラッシュ）点滅の有無を確認してください。

確認する

●都市ガス警報ランプ（赤ランプ）が点灯（フラッシュ）または点滅している場合は、12、15、19、20ページの処置を行ってください。

処置する

・都市ガス警報または、CO警報と同時に別の火災警報器の火災警報が発生したときは、それぞれ交互に警報します。

・点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作すれば、約5分間警報が停止します。
　5分経過しても連動元警報器周囲の煙が残っていると再び警報します。

・連動元警報器周囲の煙濃度が規定値以下になった場合、警報は止まり、赤ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

『ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか』

●「ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか」と警報し都市ガス警報ランプ（赤ランプ）が点灯（フラッシュ）している場合、都市ガス警報を意味しています。

部屋にいた場合で、警報したとき

⚠危険 火花などによる爆発の恐れがあります。
警報している間は、次のことは絶対しないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。

火気禁止

換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり、切ったりしないでください。

禁止
換気扇のスイッチ等

警報器は取外さないでください。

禁止
抜かない

コンセント

●次の処置をしてください。

1.ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2.ガス栓、器具栓を閉めてください。

ゴム管接続の場合　ガスコード接続の場合

コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

閉める

3.警報が停止しなければ、販売店または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報する場合は、ガス機器の点検を受けてください。

4.ガス濃度が規定値以下になれば警報は自動的に止まりますので、止まってからガスもれの原因を点検してください。ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

調べる

・点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作すれば、約５分間警報が停止します。
5分間経過してもガス濃度が規定値以上であれば再び警報します。再び警報した場合は点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作しても停止しません。

部屋にいなかった場合で、室内で警報しているのに気づいたとき

⚠危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアを開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

すぐの入室禁止

●次の処置をしてください。

1.部屋に入らずに、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。	2.ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。	3.警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。
外から開ける	閉める	閉める

※外部機器と連動している場合は、23ページ外部機器連動対応表を参照ください。

警報時の処置

『ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』

●「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報し、CO警報ランプ（黄ランプ）が点灯（フラッシュ）している場合、CO警報を意味しています。

部屋にいた場合で、警報したとき

⚠危険

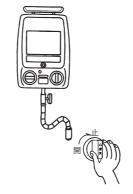
●警報していた場合、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。
●換気をせずにガス機器を使用しつづけると、CO濃度が上昇し短時間で生命が危険な状態になる恐れがあります。

●次の処置をしてください。

1.ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2.ガス機器の使用を止めてください。

止める

3.警報が停止しなければ、販売店または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報する場合は、ガス機器の点検を受けてください。
●ガス機器以外の燃焼機器が原因で警報する場合もありますのでこれらの機器も点検を受けてください。

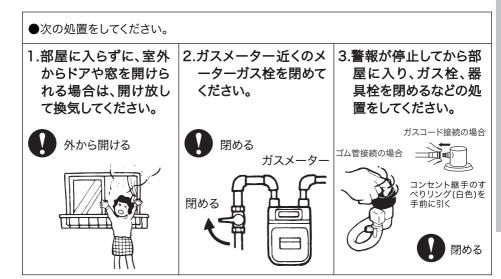
・CO警報ランプ(黄ランプ)が点灯(フラッシュ)している場合は、点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作しても警報は停止しません。

部屋にいなかった場合で、室内で警報しているのに気づいたとき

⚠危険

●CO濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓を開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

※外部機器と連動している場合は、23ページ外部機器連動対応表を参照ください。

警報時の処置

『ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です』

●「ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です」と警報し火災警報ランプ（赤ランプ）とCO警報ランプ（黄ランプ）が同時点灯（フラッシュ）している場合、火災警報及びCO警報を意味しています。
火災警報ランプ（赤ランプ）と都市ガス警報ランプ（赤ランプ）、CO警報ランプ（黄ランプ）が同時点灯（フラッシュ）している場合、火災警報、都市ガス警報及びCO警報を意味しています。次の処置をしてください。

警報時の処置

⚠危険

●消火が不可能なときは避難してください。

避難する

●火事の場合、次の処置をしてください。

1.火元を確認してください。

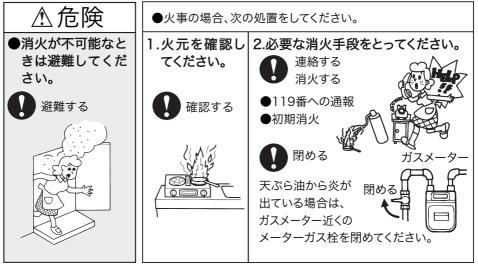
確認する

2.必要な消火手段をとってください。

連絡する
消火する

●119番への通報
●初期消火

閉める

天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

※外部機器と連動している場合は、23ページ外部機器連動対応表を参照ください。

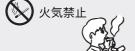
・ 点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作しても警報は停止しません。

都市ガス警報とCO警報の音声警報を交互に発している

●都市ガス警報とCO警報を交互に発し、都市ガス警報ランプ(赤ランプ)とCO警報ランプ(黄ランプ)が同時点灯(フラッシュ)している場合、都市ガス警報とCO警報の複合警報を意味します。

部屋にいた場合で、警報したとき

⚠危険

火花などによる爆発またはCO中毒を起こす恐れがあります。
警報している間は、次のことは絶対しないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。

火気禁止

換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり、切ったりしないでください。

禁止

換気扇のスイッチ等

警報器は取外さないでください。

禁止　抜かない

コンセント

●次の処置をしてください。

1.ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2.ガス機器の使用を止めてください。ガス栓、器具栓を閉めてください。

ゴム管接続の場合　ガスコード接続の場合

閉める

コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

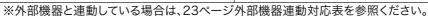
3.警報が停止しなければ、販売店または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報する場合は、ガス機器の点検を受けてください。

4.もれたガスやCOガス濃度が規定値以下になれば警報は自動的に停止しますので、停止後に警報の原因を点検してください。ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

調べる

※外部機器と連動している場合は、23ページ外部機器連動対応表を参照ください。

・都市ガス警報のみ、点検/停止スイッチの引きひもを引けば、約5分間警報が停止します(CO警報は停止しません)。
5分間経過してもガス濃度が規定値以上あれば再び警報します。
再び警報した場合は点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作しても警報は停止しません。

部屋にいなかった場合で、室内で警報しているのに気づいたとき

⚠危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合または、CO濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓を開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

🛇 すぐの入室禁止

●次の処置をしてください。

1.部屋に入らずに、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。

❗ 外から開ける

2.ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

❗ 閉める

3.警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

ガスコード接続の場合

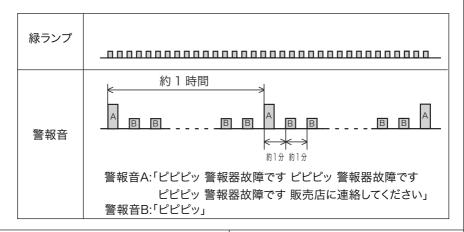
ゴム管接続の場合

❗ 閉める

※外部機器と連動している場合は、23ページ外部機器連動対応表を参照ください。

電源ランプ(緑ランプ)の速い点滅

●電源ランプ(緑)が速い点滅を示し、1分毎に「ピピピッ」を1回、または1時間毎に「ピピピッ警報器故障です ピピピッ警報器故障です ピピピッ警報器故障です 販売店に連絡してください」と1回お知らせしている場合、次の処置をしてください。

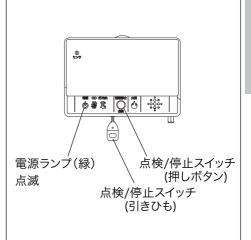
警報音A:「ピピピッ 警報器故障です ピピピッ 警報器故障です ピピピッ 警報器故障です 販売店に連絡してください」
警報音B:「ピピピッ」

1. 点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を約1秒間操作してください。

   以下のメッセージをお知らせした後、警報は停止します。
   『ピピピッ 警報器故障です 販売店に連絡してください』

   電源ランプ(緑)の速い点滅は継続しますが、再度点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を操作すると上記メッセージにてお知らせします。

 確認する

2. 早めに販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。

 連絡する

警報時の外部機器の動作

■外部機器連動対応表

上段　○：連動可能
　　　×：連動不可能
　　　△：警報器アダプター(SC-T40)が必要

下段　警報音が鳴り始めてから各機器が作動するまでの遅延時間です。
この遅延時間は連動機器によって異なります。

警報の種類／外部出力信号／連動機器	警報時の動作	火災 連動出力	都市ガス DC12V	CO DC18V	備　考
戸外ブザー (SC-B30)	警報音が鳴ります	×	○	○	都市ガス・CO警報用
			約 45 秒		
マイコンメーター	ガスを止めます	△	△	△	
			約 45 秒		
住宅情報盤	警報表示及び警報音が鳴ります	※1	○	○	
			約 45 秒		
無線連動装置 (TK-W40)	マイコンメーターでガスを止めます	×	○	○	
			約 60 秒		
無線式連動型 火災警報システム (TS-W40)	・他の部屋の警報器が連動警報します(火災) ・マイコンメーターでガスを止めます(火災、都市ガス、CO)	○	○	○	
		連動警報 即時／ガス止め 約60秒	約 60 秒		
集中監視盤	警報表示及び警報音が鳴ります	※1	○	○	
		※2	※2		
火災連動入力付 警報器	警報表示及び警報音が鳴ります	○	×	×	
		即時			
業務用しゃ断弁	ガスを止めます	×	○	○	
			約 45 秒		

※1 接続する場合は、販売店または最寄りの東京ガスにご相談ください。
※2 機器の設定により、遅延時間が異なります。

⚠注意

- ●外部出力信号は極性がありますので、外部機器と接続される場合はご注意ください。
- ●住宅情報盤及び集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づき行ってください。
- ●連動機器では、都市ガスとCOの警報は判別できません。住宅情報盤には判別できるものがあります。
- ●遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書を参照ください。
- ●連動機器は専用品をお使いください。(集中監視盤を除く)
- ●外部連動については、販売店または最寄りの東京ガスにご相談ください。

8 警報器のお手入れ方法

⚠警告

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

電源プラグは確実に

シッカリと！

⚠注意

●警報器の表面及び取付け部付近の壁面が汚れたりしてお手入れをされる場合は、電源プラグをコンセントから必ず抜き取ってください。

プラグを抜く

お願い

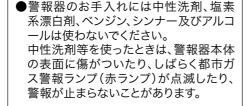
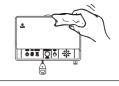
●お手入れをされる場合は、布を水または石けん水に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

●火災センサー上部にホコリやくもの巣がつきますと検知しにくくなります。
火災センサー内部にホコリが入らないように注意してホコリを除去してください。

●お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。

禁止

●警報器のお手入れには中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー及びアルコールは使わないでください。
中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく都市ガス警報ランプ（赤ランプ）が点滅したり、警報が止まらないことがあります。

禁止

警報器を取付けている部屋などで噴霧式殺虫剤を使用される時のお願い

●警報器が噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報する場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器の作動を防ぐのに効果があります。

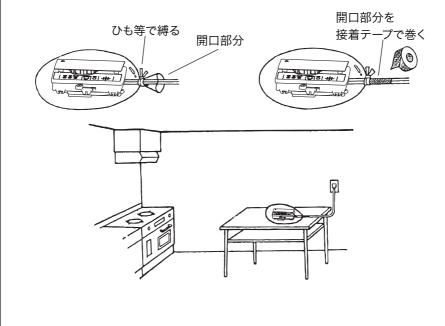
1. コードを巻き取り部から引き出して伸ばし、安定した所に置ける場合には、下記の手順で処置してください。

用意していただくもの

ポリ袋　　・ポリプロピレン (プラ PP または >PP< 表示) が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。

ひも

接着テープ

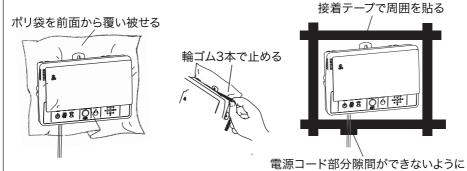
① 警報器を取出し、コード止めから電源コードを外して伸ばしながら、安定するところに置いてください(電源プラグは抜かないでください)。
② 警報器にポリ袋1枚をかぶせて、ポリ袋内に噴射ガスが入るのを防ぐため、電源コード部分で密閉できるようにひもなどで縛ってください。ポリ袋の開口部分は、電源コードとの間に隙間ができないように接着テープなどを巻いてください。
③ ポリ袋を傷めないように、安定するところに置いてください。

2. 25ページ の方法で処置できない場合は、下記の手順で処置してください。

用意していただくもの

ポリ袋　・ ポリプロピレン (プラ PP または >PP< 表示) が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。
・ 大きさは 30 ㎝ ×40 ㎝程度が適当です。

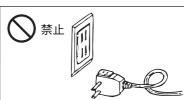
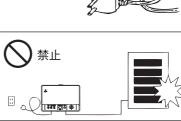
輪ゴム 3 本

接着テープ　壁面の状況に応じた接着テープ

① ポリ袋を輪ゴムで警報器のコード巻き取り部分で止めてください。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかりと止めてください。
② ポリ袋と壁の隙間から噴射ガスが入るのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで壁面に貼付けてください。ただし、壁面などの状況により貼付けできない場合は輪ゴムで止めておくだけでも一定の効果はあります。
・ ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に特に注意し、ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにしてください。
・ 接着テープは壁面の状況に応じて、接着しやすく、また剥がすときに壁面などを傷めないようにしてください。

⚠警告

●噴霧が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取り除いてください。	取り除く

⚠警告

●電源プラグは抜かないでください。 電源を抜いて、警報器をポリ袋で覆わずに、噴霧式殺虫剤を使用する部屋に置くと、噴霧が終わってから電源を入れた時に、警報器内部のフィルターに吸着した噴射ガスが脱離することにより、警報することがあります。	
●警報器の信号が外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜いたりすると、外部機器で警報（故障表示）する場合があります。	

⚠注意

●警報器の壁面からの取外し、取付け、あるいは壁面の警報器へのポリ袋の取付け、取外しは高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台などをお使いの上、転落、転倒、落下に十分注意して行ってください。	
●壁掛型警報器は、強く引っ張ると取付けている木ネジが抜けたり、木ネジから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。	

お願い

●ガス警報器への影響を少なくするため、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。また、警報器の真下での噴霧は避けてください。

●ポリ袋で覆っても次のような場合には警報する場合があります。念のために、事前に住宅管理者やご近所の方に殺虫剤の使用を、連絡してください。

- ・ポリ袋と壁面の間に隙間がある場合。また、ポリ袋に破れや穴がある場合。
- ・部屋の広さに比べて極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用された場合。
- ・警報器をポリ袋で覆う前に石油系溶剤、アルコール類などを使用されていた場合。
(ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められるため)
- ・経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

⑩ アフターサービス

お　願　い

- この警報器の保証期間は取付日から5年とし、保証期間中に故障が起きた場合には無償で正常作動品と交換いたします。ただし、保証書記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書を参照ください。
- この警報器の有効期限は、お取付けの5年後です。
  有効期限とは警報器の所定の性能を維持できる期限であり、5年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、新しい警報器とお取替えください。
  ※有効期限を経過した警報器は、東京ガスが引き取って適切に処理いたします。
  　東京ガスにお渡しください。
- 保証書に取付け年月日及び販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
- お引越しの場合の取扱い
  (1) リース品
  リース品は転居先に持っていかないでください。リース料金はガスメーター閉栓(ガス料金の最終検針)の月までご請求し、次月以降は解約となります。
  リース警報器は東京ガスまたは指定の販売店が原則としてガスメーター閉栓時に取外させていただきます。
  なお家主の方が契約されている場合は、家主の方にご相談ください。
  (2) 現金またはカード払いなどによるお買上げ品
  お客さまご自身が東京ガス供給エリアの新住所にお持ちいただいた場合は、販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。無償で再設置のうえ、新住所での設置先登録をさせていただきます。

警報器の登録について

この警報器はコンピューターに登録させていただきます。

- この警報器の設置情報（取付年月日、お客さま番号、機器名、設置場所等）は、販売店を通じ東京ガスのコンピューターに登録させていただきます。登録済みの警報器には有効期限（取替予定年月）を記入したラベルを貼付していますので、ご確認ください。また有効期限（取替予定年月）の記入のないラベルは未登録の場合がありますので、販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください(ラベルははがさないでください)。
  登録された警報器の有効期限到来時に、東京ガスまたは指定の販売店より期限切れをお知らせしますので、新しいものとお取替えください。なお、お客さまが転居された場合などには、期限切れのお知らせができないこともあります。

個人情報保護に関する東京ガスの対応について

- 警報器に関するお客さまの個人情報は、上記の有効期限経過のお知らせを行うほか、製品の品質向上のための修理点検記録収集やアフターサービス全般のために使用し、それ以外の目的に使用することはございません。
- 東京ガスは上記の業務を実施するために、お客さまの個人情報を協力企業(ライフバル各社、エネスタ、エネフィットまたはその他の弊社警報器取扱企業)と共同利用させていただきますが、その場合お客さまの個人情報を安全かつ適切に利用するよう努めます。
- お客さまが上記の個人情報の利用をお認めにならない場合は、お手数ですがその旨お申し出ください。

11 対象ガス及び仕様

項目		仕様	
火災警報機能	種別	光電式住宅用防災警報器・ガス漏れ警報器	
	鑑定型式番号	鑑住第20～16号	
	検知原理	煙感知方式（光電式）	
	煙検知性能	2種	
	火災連動入出力	監視時 DC30V以下　警報時 DC1.2V以下@100mA 出力遅延時間0秒	
ガスもれ・不完全燃焼警報機能	対象ガス	都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス用）	不完全燃焼排気ガス中のCO
	警報ガス濃度	低濃度※爆発下限界濃度の約1/100以上	低濃度　CO濃度 50～300ppm
		高濃度　爆発下限界濃度の1/4以下	高濃度　CO濃度 550ppm以下
	検知原理	半導体式	
	警報方式	低濃度　赤ランプ点滅（自動復帰式）	低濃度　黄ランプ点滅 約7分後危険と判断し、音声合成音（自動復帰式）
		高濃度　赤ランプ点灯（フラッシュ）音声合成音（自動復帰式）	高濃度　黄ランプ点灯（フラッシュ）約2分後危険と判断し、音声合成音（自動復帰式）
	応答時間	60秒以内	低濃度　10分以内 高濃度　5分以内
	外部出力信号	監視時 DC6V　電源OFF時 0V　故障時 0V	
		警報時 DC12V	警報時 DC18V
		発信標準遅延時間0秒	
	付属回路	通電初期警報防止用約1分間タイマー付　スイッチ初期点検機能付	
共通仕様	警報音量	80dB/m以上	
	電源	AC100V　50/60Hz	
	消費電力	監視時 約0.7W　警報時 約1.4W	
	使用温度範囲	0℃～+40℃（結露しないこと）	
	寸法・質量	85×125×47.5mm　約300g	
	電源コード	長さ 2.5m（約2.2mはケース背面に巻き取り可能） 予備コンセント付プラグ（予備コンセントに接続できる電気製品は、1490W以下）	
	付属品	取扱説明書、保証書、コード振れ止め（3個）、3.1ミリ木ネジL=16（1本）、アタッチメント（1個、ピン3本付）、石こうボード用ピンL=18（3本）	
	ケース材質	ABS樹脂（自己消火性）	

※爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。
　その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

⚠注意

●この警報器は都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス用）専用の警報器です。
●都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス用）供給区域外ではお使いにならないでください。

12 施工される方へのお願い

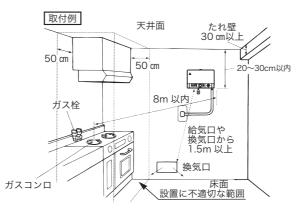
⚠警告	
●本取扱説明書を熟読の上、指定された方法を遵守して取付けを行ってください。また、火災連動機能を使用する場合は、連動する機器の取扱説明書及び設置工事説明書に基づいて接続してください。	必ず行う
●警報器を設置する前に、警報器の種類、形式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客さまとよく相談して決めてください。	必ず行う
●お客さまへ引き渡す際には、必ずお客さま立会いのもとで取扱説明書記載の作動点検を実施してください。 なお、作動不良の場合は交換してください。また外部機器と接続した場合は、外部機器の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。	必ず行う
●取付け・点検終了後に、“⑯お客さまへのご説明内容”“⑰お客さまへの周知事項”をお客さまに説明してください。 ※詳細は40ページを参照ください。	必ず行う

⚠注意	
●取付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用(煙式火災検知・CO警報機能付)であり、本体に異常のないことを確認してください。	必ず行う
●警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取扱いには注意してください。	
●有効期限を本体正面の有効期限シールに、お取付日から5年後の西暦年月を記入してください。	必ず行う
●有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について ・一般廃棄物として処理を行わないで、産業廃棄物として処理してください。 ・一般廃棄物として焼却処理した場合、有毒ガスが発生する恐れがある材料が本製品には含まれています。 決められた処理ルートがある場合は、それに従って処理してください。	必ず行う

13 取付位置の確認

●取付位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

⚠注意

●都市ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置してください。	必ず行う
●都市ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けてください。	必ず行う
●都市ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓）から水平距離8m以内、天井面から30cm以内にしてください。	必ず行う
●天井面に接近して取付けると、天井面が黒ずむ場合があるので、警報器の底面から天井面までの距離が20cm以上～30cm以内になるように取付けてください。	必ず行う
●アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けないでください。	禁止
●換気口等の空気の吹き出し口から1.5m以内には取付けないでください。	禁止

床面積は概ね30㎡以下（部屋が正方形なら対角線は約7.7m以下）

※取付け及び取付位置の移動は、販売店または最寄りの東京ガスにおまかせください。

施工

⚠注意

次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

- ●換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すきま風の入るところ
- ●30cm以上のたれ壁で区切られているところ
- ●エアコン等の吹き出し口の近く

禁止　警報が遅れたり検知できないことがあります。

●燃焼器具などの排気、湯気、油煙及び調理用アルコール蒸気が直接かかるところ

禁止　センサーの寿命が短くなったり、誤報の原因になります。

●使用時しか電源を入れないところ（ビルなどの給湯室で、夜間電源を切るところ）

禁止　警報器としての機能を果たしません。

●カーテンウォールなどで仕切られるところ

禁止　警報が遅れます。

●振動、衝撃の激しいところ

禁止　センサー故障の原因になります。

●浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ

禁止　感電や電気的故障の原因になります。

●温度が0℃～40℃の範囲をこえるところ

禁止　警報器としての機能を果たしません。誤作動の原因になります。

●照明器具の近く(60㎝以上離してください)

禁止

●食器棚などの上部

禁止

●たれ壁やはりの近く(60㎝以上離してください)

禁止

●タンスなどの家具の近く(60㎝以上離してください)

禁止

●屋外

禁止　屋外用ではありません。

施工

14 取付方法

1.付属品の確認

部品イラストや図などを参照して、付属品名、個数、用途などを確認してください。

2.取付位置の確認

(1)取付位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板等には取付けないでください。

(2)壁が石こうボードの場合は下記を参照して石こうボード取付用アタッチメントを使用してください。

3.警報器の取付

〈石こうボードへ取付ける場合〉

(1)アタッチメント裏面の両面テープの剥離紙を剥がしてください。

(2)壁面にアタッチメントを押し当て、アタッチメントの石こうボード用ピンを差し込んでください。
その際、市販の石こうボード用のピン差し込み工具またはドライバーの柄の堅いところなどで石こうボード用ピンの頭を押しつけて根元まで差し込んでください。

(3)警報器をアタッチメントのフック部に引っ掛けてください。警報器が傾かない位置で、アタッチメントの左右の石こうボード用ピンを差し込み固定してください。

〈石こうボード以外の壁へ取付ける場合〉

壁がコンクリートの場合は、振動ドリルでドリリングのうえ、カールプラグ(市販品)を打ち込み、木ネジを使用してください。

(1)アタッチメントの石こうボード用ピンを取外してください。

(2)アタッチメントを付属の木ネジ(長さ16㎜)で止めてください。

(3)警報器をアタッチメントのフック部に引っ掛けてください。

(4)電源コードは付属のコード振れ止めで固定してください。

■付属品

コード振れ止め(3個)

アタッチメント(1個)

(ピン3本付)

木ネジ
長さ16㎜
(アタッチメント取付け用)(1本)

石こうボード用ピン(3本)

⚠注意

●警報器の取付け時には、警報器を落とさないよう注意してください。
(センサーの断線等で正常に作動しない恐れがあります)

●ピンを指に刺さないよう取扱いには十分注意願います。

●取付強度保持のため、ピンは根元まで差し込んでください。

●万一ピンがゆるんだ場合には、取付位置を少しずらしてピンを取付け直してください。

必ず行う

⚠警告

●火災検知部のガードの中にある網に触れないよう取付けてください。

（網の破壊などで火災を検知しにくくなる恐れがあります。）

⚠注意

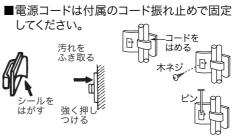
●配線方法

1.電気設備技術基準及び内線規定により電源コードは、ステップルや釘等で固定しないでください。

2.電線の上に重いものを置かないでください。

お願い

1. 電源コードは、付属のコード振れ止めで固定してください。なお、コード振れ止めが接着だけでは付かない場合は、3.1ミリ木ネジ(付属してはいません)で止めてください。
   石こうボードに取付ける場合は付属のピンで止めてください。
2. 電源コードは、コンセントまでの長さにあわせて取出し、電源コード固定部(6ヶ所)に固定してください。
3. 外部機器との接続方法
   外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に従って工事を実施してください。

■電源コードは付属のコード振れ止めで固定してください。

4. 更新取付等、従来の取付板に取付ける場合は、縦取付となります。

取付板の上の引っ掛け部を、警報器背面に引っ掛けた後、取付板下の固定凸部に警報器を押しつけるようにして食い込ませ固定します。

（警報器が確実に固定されているかどうかを確認してください。）

上を引っ掛けてから下の突起に押し込む

・縦取付けした場合は、点検/停止スイッチの引きひものつまみ部を引きひも収納部に入れてください。

・縦取付けした場合は、点検/停止スイッチの操作は押しボタンを使用してください。

施工

外部機器と接続した場合の注意点及び点検方法

⚠注意

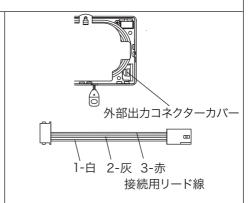
●外部機器と接続した場合は、外部機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。

●都市ガス･CO警報外部出力端子は有電圧出力ですので、外部機器と接続する場合は外部機器が有電圧出力を受けられる仕様であるか、また極性は間違いないか等注意してください。

● 外部機器と接続する場合。

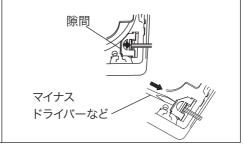
1. 外部出力コネクターカバーを外し、別売品の接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと差し込んでください。

2. 接続後カバーのリード線引出部をラジオペンチ等を使用して切り取りそこからリード部を引出してください。

3. カバーはケースに確実に取付けてください。

外部出力信号	リード線No.	リード線の色(極性)
火災連動入出力	2-3	灰(−) 赤(+)
都市ガス･CO警報出力	1-2	白(+) 灰(−)

● カバーを外す場合。

1. カバーを少し下げて隙間をあけてください。

2. 隙間部分にマイナスドライバー等を差し込み、カバーを外してください。
その際、リード線を傷つけないよう注意してください。

15 作動点検

お願い

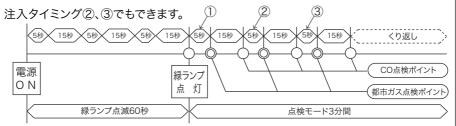
●都市ガス警報、CO警報機能の作動点検時には、ガス採取器（別売品）とガスライター・ガスコンロなど検知対象ガスの炎からガスを採取できるものを用意してください。

従来のアルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガスは使用しないでください。また、ガスライターのガスを直接かけての点検もしないでください。センサーに異常が生じたり、警報時間が長くなる可能性があります。

都市ガス・CO警報点検の方法

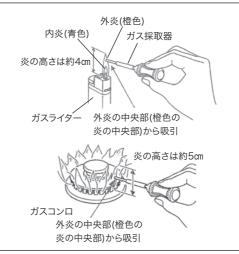
電源を入れてから1～4分の間を点検モードとし、CO警報の遅延時間を無くして、より点検をしやすくしています。
点検は、この間に実施してください。また、電源を入れてから60秒後電源ランプ(緑)が点滅から点灯に変わった直後の5秒間に点検ガスを注入してください。

〈ガス注入のタイミング〉

注入タイミング②、③でもできます。

※注入タイミングがずれたり、ガス濃度が低くなったりすると警報にいたらない場合があります。

〈ガス採取方法〉

1. 周囲に引火物などが無いことを確認してからガスライター、またはガスコンロを点火し、炎の高さをガスライターでは約4㎝、ガスコンロでは約5㎝に調整します。炎が小さいと点検ガスを採取しにくくなります。
2. ガス採取器を圧縮し、先端を炎の外炎の中心部(橙色の炎の中心部)へ持っていきます。
3. 約2秒程度かけて、炎の中からガス成分(点検ガス)をゆっくり吸引します。
   終わりましたら速やかにガス採取器をガスライターまたはガスコンロの炎から離して、炎を消してください。

施工

4.ガス採取管の先端は熱くなっているため、そのまま警報器に押し当てると警報器のケースを溶かしたり傷がついたりします。ガスを採取後、必ず30秒以上冷ましてください(熱いまま警報器に当てないでください。警報器の故障・変形の原因となります)。

〈点検〉

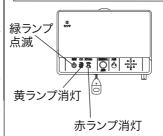
1.ガスを採取します。
2.ガス警報器の電源プラグをコンセントに差し込みます。
3.電源ランプ(緑)が点滅から点灯に変わったタイミングで(前ページ〈ガス注入のタイミング〉参照)、ガス採取器の先端を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスを約1秒程度で注入します。
4.ガスを注入してから30秒以内に都市ガス警報、CO警報することを確認してください。
 ・警報は、都市ガスとCOの複合警報となりますので、赤ランプ及び黄ランプが点灯(フラッシュ)(緑ランプは点灯)し、都市ガス警報音「ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか」とCO警報音「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」を交互に警報します。
 ・ガス濃度が低いと黄ランプの点滅(緑ランプは点灯、赤ランプは消灯)のみで、警報しない場合がありますのでその時は、再度警報器の電源を入れ直して、ガス採取方法を確認の上、作動点検を行ってください。
 ・電源を入れてから4分経過後(点検モード終了後)に黄ランプが点滅することがありますが、しばらくすると消灯します。
5.ガス濃度が規定値以下になると、赤ランプ及び黄ランプは消灯します。
 ※ガスの検知ポイントは20秒間隔であるため、ガス濃度が規定値以下になっても最高20秒間警報し続けることがあります。

⚠警告

採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。

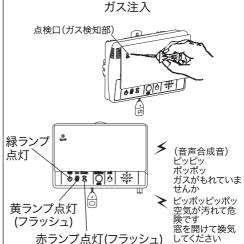
⚠注意

ガス採取器が破損するので、長時間加熱しないでください。

禁止

緑ランプが点滅から点灯に変わったら

⇩

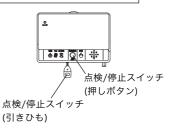
ガス注入

火災警報点検の場合

点検/停止スイッチを操作することによって火災警報機能の作動点検ができます。

⚠ 注意

CO警報や都市ガス警報の作動点検は36、37ページにならって実施してください。

点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を約1秒操作して「ピッ」と鳴ったらスイッチから手を離してください。警報ランプと警報音の確認が始まります。

●電源投入から25分以内に確認を行って下さい。
　下記の順序で警報とランプ表示を行います。

ステップ	音声内容	ランプ			
		火　災	都市ガス	CO	電　源
1	ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です	フラッシュ		フラッシュ	点滅
2	ピィーポォーピィーポォー火災警報器が作動しました 確認してください	フラッシュ			点滅
3	ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか		フラッシュ		点滅
4	ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください			フラッシュ	点滅

・各ステップの警報回数は1回ずつです。
・点検中は電源ランプ(緑)は点滅です。
・各ステップは約8秒間で切り替わります。
・この点検は初期遅延中及び監視中に行うことができます。
・外部出力は監視状態です。
・最後に「ピー」という終了音が鳴ります。
・警報器に異常がある場合は故障をお知らせします。

●電源投入から25分以上経過して行った場合は、「正常です」とお知らせします。
　警報ランプの表示はありません。

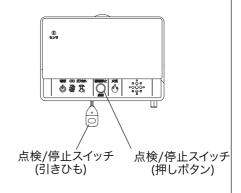
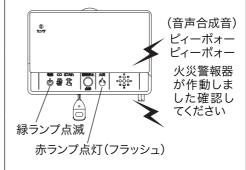
連動点検の場合

次の手順で点検してください。

〈電源を入れてから25分以内〉

1. 点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を3秒以上操作して「ピッ」「ピピッ」と鳴ったらスイッチから手を離してください。
   38ページの警報ランプと警報音の確認ができます。
   各警報音発生後、各警報ランプは点灯(フラッシュ)を続けます。
2. 都市ガス・COの外部出力は、約8秒ごとにDC12V/DC18Vを交互に出力します。
   火災連動出力もONします。
3. 点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を再度約1秒間操作すると(ピーと鳴った後)警報ランプの点灯(フラッシュ)及び外部出力は停止します。そのままでも1分経過すれば、警報ランプの点灯(フラッシュ)及び外部出力は停止します。

〈電源を入れてから25分以上経過後〉

1. 点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を3秒以上操作して「ピッ」「ピピッ」と鳴ったらスイッチから手を離してください。
   ※赤ランプが点灯(フラッシュ)し、「ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください」と1回警報します。
2. 同時に火災連動出力がONします。
3. 点検/停止スイッチ(押しボタンまたは引きひも)を再度約1秒間操作すると(ピーと鳴った後)赤ランプの点灯(フラッシュ)及び連動出力が停止します。そのままでも1分経過すれば赤ランプの点灯(フラッシュ)及び連動出力が停止します。

他の警報器より火災連動信号が入力された場合

信号を入力すると、火災警報ランプ(赤)が点滅し「ピィーポォーピィーポォー 別の火災警報器が作動しました 確認してください」と警報します。

16 お客さまへのご説明内容

●設置点検終了後に次の事項をお客さまに説明してください。

1. 作動点検結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保証書・取扱説明書の保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
   (1) 火災警報の内容(赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時にとるべき措置の説明(13、14ページ参照)。
   (2) 都市ガス警報の内容(赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時にとるべき措置の説明(12、15、16ページ参照)。
   (3) CO警報の内容(黄ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時にとるべき措置の説明(12、17、18ページ参照)。
   (4) 火災、COの同時警報と警報時にとるべき措置の説明(19ページ参照)。
   (5) 都市ガス、COの同時警報と警報時にとるべき措置の説明(20、21ページ参照)。
   (6) 火災、都市ガス、COの同時警報と警報時にとるべき措置の説明(19ページ参照)。
   (7) 誤報が発生する場合(7ページ参照)。
   (8) 警報器に異常が発生した場合(緑ランプ点滅が60秒以上継続した場合)と、とるべき措置の説明(22ページ参照)。
   (9) 点検/停止スイッチの操作。
   (10) 警報器の定期点検方法の説明(8ページ参照)。

17 お客さまへの周知事項

お願い

●お客さまに次の事項をご説明のうえ、ご理解を得てください。

1. 保証期間5年。
2. 警報器の有効期限(本体に表示)。
3. 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取扱うこと。
4. 警報器の移設禁止(移設依頼の連絡先)。
5. 警報器の分解禁止。
6. 引越時の措置。
7. 故障・異常時の連絡先。

必ず行う

TOKYO GAS 共通お問い合わせ先

0570-002211 ※ 弊社お客さまセンターへ転送されます。

● 日立、甲府、群馬、熊谷、宇都宮の各エリアのお客さま、およびPHS等共通お問い合わせ先をご利用できない場合は、下記へお問い合わせください。

ガスご使用場所	お問い合わせ先
千代田・中央・大田・品川・港区	03 (5722) 0111
渋谷・目黒・新宿・中野区	03 (5722) 3111
江東・墨田・台東・文京・荒川区	03 (3842) 0111
葛飾・足立・江戸川区, 草加・八潮・三郷市	03 (3603) 0361
竜ヶ崎・牛久・つくば市, 利根・藤代・阿見町	0297 (62) 8111
千葉・四街道・八街・印西・八千代・佐倉・白井市, 印旛・本埜村	043 (242) 6121
木更津・君津・袖ヶ浦・富津市	0438 (23) 1245
世田谷区, 調布・狛江市	03 (3426) 1111
杉並区	03 (3396) 1111
武蔵野・三鷹市	0422 (54) 0111
東久留米・西東京・清瀬市	042 (463) 0111
立川・東村山・小平・国立・多摩・稲城・日野・国分寺・小金井・府中・東大和・所沢市	042 (524) 2111
八王子市	042 (645) 0511
練馬・豊島・北・板橋区, 朝霞・和光・新座市	03 (5394) 7700
さいたま・川口・戸田・鳩ヶ谷・岩槻・蕨・上尾・蓮田・久喜市, 伊奈・菖蒲・白岡町	048 (651) 1131
横浜市	045 (948) 1100
川崎市	044 (245) 2211
逗子・鎌倉・藤沢市, 葉山町	0466 (26) 0111
横須賀・三浦市	046 (823) 1570
町田・大和・相模原・座間・海老名・綾瀬市, 城山町	042 (742) 6721
茅ヶ崎・平塚市, 寒川・大磯・中井町	0463 (22) 2616
日立市	0294 (22) 4131
甲府市, 玉穂・昭和町	055 (253) 1341
高崎・前橋・藤岡市, 榛名町	027 (322) 2523
熊谷・行田・鴻巣・深谷市, 吹上町	048 (522) 5171
宇都宮市, 上三川町	028 (634) 1911

● インターネットでのお問い合わせ・カタログのご請求等は、下記までお願いいたします。
「ご家庭のお客さま向けホームページ」 http://home.tokyo-gas.co.jp

■ ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、上記のお問い合わせ先、または販売店にお願いします。

販売店名

製 造 者
矢 崎 総 業 株 式 会 社
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 ☎053(925)4511

■ 所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。(平成19年7月現在)

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
2008.06
766831-5-080